

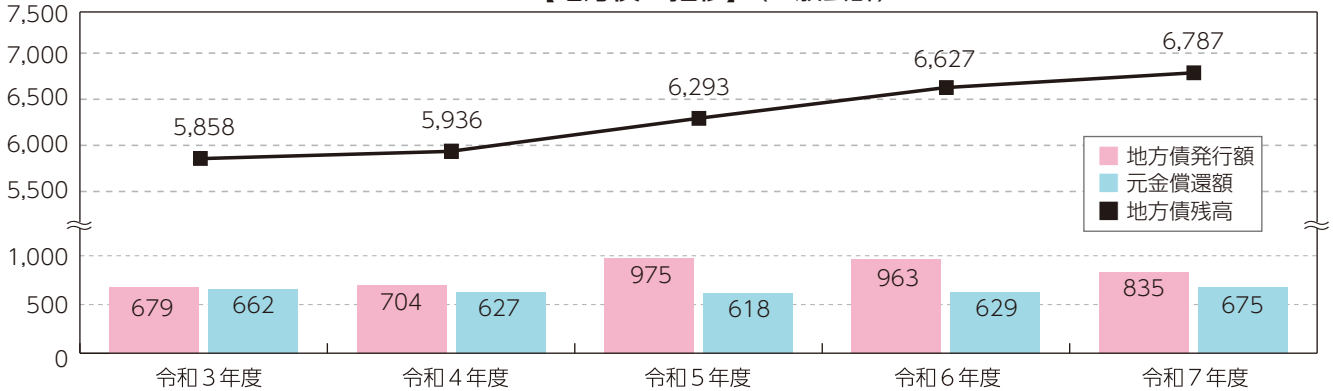
地方債、企業債の状況

(千円)

会 計		令和7年度			
		年度末残高	発行額 (借入額)	償還額(返済額)	
				元金	利子
一般会計		6,787,144	835,400	675,311	34,813
特別会計	国民健康保険今庄診療所特別会計	47,697	19,400	10,814	113
	河野診療所特別会計	26,009	0	5,630	158
企業会計	水道事業会計	1,002,375	229,500	69,840	12,703
	下水道事業会計	612,815	55,800	171,596	12,085
計		8,476,040	1,140,100	933,191	59,872

単位：百万円

【地方債の推移】（一般会計）



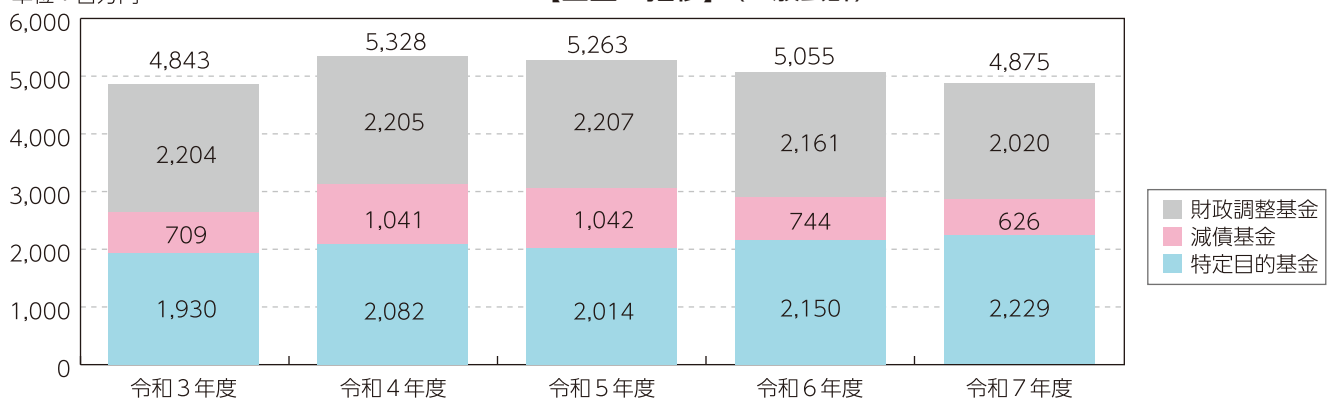
基金の状況

(千円)

会計	基金名称	令和7年度末残高
一般会計	財政調整基金	2,019,651
	減債基金	625,530
	青少年育成代継基金	100,000
	高齢者保健福祉基金	214,169
	電源立地地域対策交付金事業維持基金	32,337
	ふるさとの振興基金	69,408
	榎谷ダム保全基金	34,506
	地域振興基金	853,667
	鉢伏山周辺施設維持基金	8,721
	森林環境譲与税基金	53,194
一般会計	特定目的基金	
一般会計	公共施設適正管理基金	760,538
	道の駅南えちぜん山海里施設維持基金	61,889
	その他	40,937
	計	4,874,547
特別会計		
特別会計	国民健康保険基金	221,117
	介護保険基金	213,064
	農業者労働災害共済基金	13,577
	計	447,758

単位：百万円

【基金の推移】（一般会計）



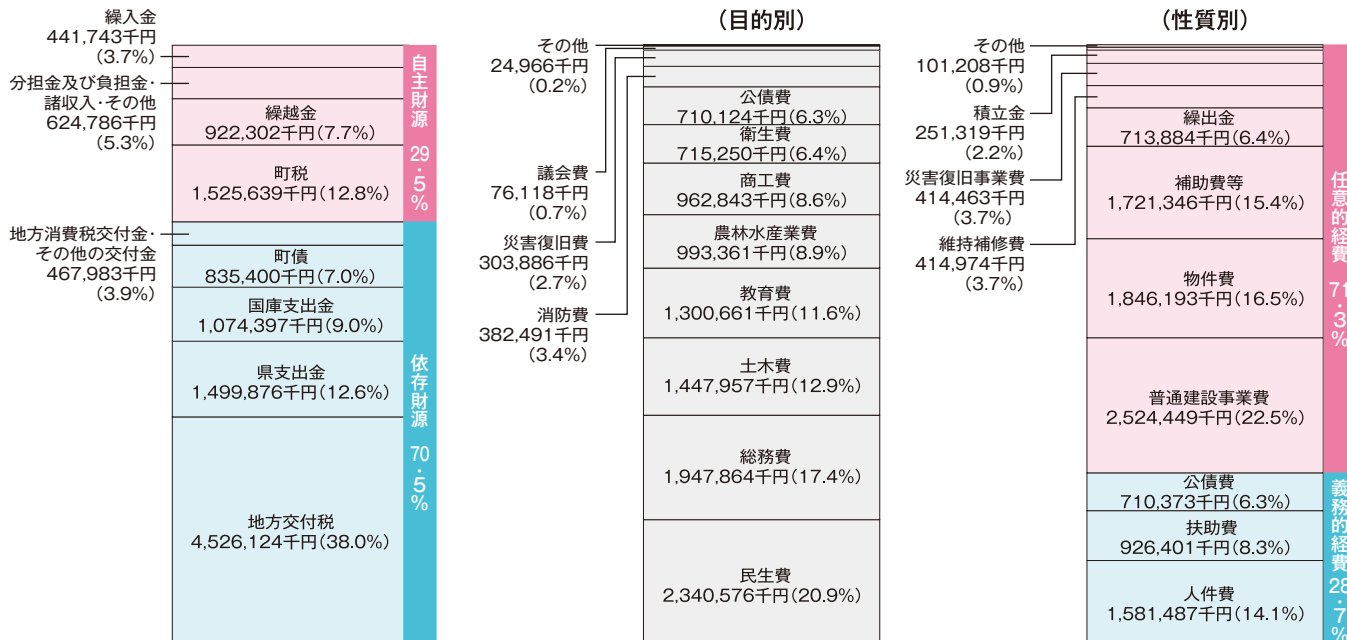
令和7年度決算報告

9月議会定例会で、令和7年度の一般会計および7の特別会計2の企業会計の歳入歳出決算が認定されました。

一般会計の決算は、歳入119億1,825万円、歳出112億609万7千円、歳入歳出差引は7億1,215万3千円で、翌年度に繰り越す事業の財源を除いた実質収支は、6億745万8千円となりました。

一般会計収支決算

歳入 **119億1,825万円** 歳出 **112億609万7千円** 歳入歳出差引額 **7億1,215万3千円** 実質収支 **6億745万8千円**
(うち翌年度に繰り越すべき財源 1億469万5千円)



特別会計収支決算

(千円)

会計名	歳入決算額	歳出決算額	歳入のうち一般会計からの繰出・補助
国民健康保険	1,006,771	1,000,810	45,547
国民健康保険今庄診療所	322,303	321,306	130,036
河野診療所	77,346	76,347	44,858
農業者労働災害共済	592	326	0
後期高齢者医療	197,188	196,940	33,255
老人保健施設	203,537	202,537	71,433

会計名	歳入決算額	歳出決算額	歳入のうち一般会計からの繰出・補助
介護保険	1,455,437	1,429,062	246,490
(企業会計)水道事業会計	(収益的収入) 439,436 (資本的収入) 382,329	(収益的支出) 432,775 (資本的支出) 421,208	206,929
(企業会計)下水道事業会計	(収益的収入) 666,280 (資本的収入) 174,816	(収益的支出) 662,343 (資本的支出) 309,944	283,612

令和7年度決算のポイント(一般会計)

歳入歳出全体 歳入全体では前年度と比べ約10.1%減少しましたが、北陸新幹線関連の固定資産税や宅地分譲地売却収入などが増加しました。歳出全体では前年度と比べ約9.2%減少しましたが、人件費や公債費などの義務的経費に加え、施設の維持管理経費が含まれる物件費などが増加しました。

維持管理経費の増加 物価高騰や施設の老朽化に伴い公共施設の維持管理経費が増加しています。

地方債残高の増加 地方債を財源とした災害復旧関連事業の増加に伴い地方債残高が増加しています。

基金残高の減少 物価高騰による管理経費や施設老朽化対策事業の財源として使用したため基金残高は減少しています。

今後の取り組み 人口減少に対応した新たなまちづくりを進めるため、費用対効果を意識した事業や施設の見直しなどを行っていく必要があります。